

もち米贈呈～農事組合法人とびす～

10月31日（金）、農事組合法人とびす代表園山雅敏さんが、鳴巣幼稚園に今年も収穫したばかりの20キロの餅米を寄贈されました。

子供たちは餅米の重さにびっくりして、自分の体重と餅米とどちらが重いか比べていました。

餅米は、お餅に加工されおやつや様々な行事で活用されることがあります。楽しみですね。



スポーツ吹矢全国交流大会

11月9日（日）、第2回スポーツ吹矢島根大会（出雲神在月杯）が、コミセンアリーナで開催されました。参加者は県内だけでなく、東京、広島、兵庫など54人。試合中は、矢が的に当たる音しか聞こえない厳粛な空気の中で、選手は緊張しながらも精神統一して、一本一本を丁寧に射込んでいました。また、休憩中には他県の選手との交流も楽しみました。



出雲工業高校電気科生徒のボランティア

11月10日（月）、出雲工業高校電気科の生徒5人がコミセンの集会室、事務室、研修室、ハナミズキカフェなどのエアコンフィルターの掃除をしてくれました。

普段の掃除ではできない高い箇所にあるエアコンですが、脚立に登り丁重にフィルターを外して磨いてくれました。

学びを生かした地域貢献に心から感謝しています。



飲酒運転根絶署名簿の提出

11月21日（金）、飲酒運転根絶を目指して地区の皆さんに署名してもらった署名簿を北部地区合同で出雲警察署長に提出しました。

飲酒運転による交通事故は年々減少しているものの依然として悲惨な交通事故は後を絶ちません。飲んだら乗るな！飲酒運転をしない！させない！という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶したいものです。



大寺古墳～昭和34年8月出雲市指定史跡～

鳴巣の文化財

大寺薬師仏像収蔵庫の裏手、通称大寺山にある大寺古墳（1号墳）は、古墳時代前期（4世紀後半）に造られた出雲地方最古の前方後円墳です。墳丘は、全長52m。後円部系約27m。前方部は正面幅が約14mと狭く、平面形態は撥型（ばちがた）です。北山南麓の標高30mの尾根を削って整地した上に盛土し、一段のテラスをもつ墳丘を造りだしています。埴輪（はにわ）はありませんが、表面に葺石（ふきいし）を貼り、墳端（ふんたん）には石を並べていたことが分かっています。

埋葬施設は、後円部中央に板状の割石を積み上げて造られた竪穴式石槨が設けられています。石槨（せっかく）は長さ約4m、幅約80cm、高さ約70cmを測ります。床面には粘土が敷かれ、割竹型木簡（わりたけがたもっかん）が安置されていたと考えられます。

副葬品は、石槨内から鉄製鍬（鍬）（くわ・すき）先と鉄斧（てっぷ）が各1点出土しているのですが、幅約17cmを測る鉄製鍬（鍬）先は、古墳時代の例としては国内最大です。

また、前方部からは、碧玉製勾玉（へきぎょくせいまがたま）が一点出土しています。



【鳴巣の歴史を語ろう会：出雲市文化財課資料提供】